

令和7年度



喜多見の教育

第1学年

キャリア教育 年間指導計画	1
人権教育にかかわる 年間指導計画	2
教科「道徳」 年間指導計画	3
総合的な学習の時間 年間指導計画	6
教科「日本語」 年間指導計画	7
各教科年間指導計画・評価計画	8

世田谷区立喜多見中学校

令和7年度 キャリア教育 年間指導計画 1 学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第1学年のテーマおよび年間指導計画

「自分の良さに気づく」

様々な活動をとおして、自己を見つめ自己のキャリア形成について関心を高め、進んで将来の計画を立てられる生徒を育成する。

月	内容
4	・中学生になって (作文) ・キャリアパスポート (学年初め)
5	・学習の方法と計画 ・行事への取り組み (運動会)
6	・行事への取り組み (移動教室) ・ソーシャルトレーニング ・ネットリテラシー講習会
7	・1学期の生活のまとめ ・地域の人の話を聞く会 ・キャリアパスポート (学期末) ・夏休みの生活の仕方
9	・職業調べ
10	・行事への取り組み (合唱コンクール) ・キャリア学習
11	・キャリア学習
12	・自分を知る ・キャリアパスポート (学期末)
1	・キャリア学習
2	・キャリア学習
3	・1年間の反省と抱負 ・キャリア学習 ・キャリアパスポート (学年末)

令和7年度人権教育にかかわる年間指導計画

〔第1学年〕

：関連的な指導

【 】：人権課題

「 」：関連的な教科指導

＜考え方＞	
各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界のの人々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。	＜指導のねらい＞ ・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成 ・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成 ・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成 ・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成 ・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる目標を設定する。	学習習慣および生活習慣を身につける。「運動会」や「移動教室」など、様々な活動を通して、望ましい人間関係を構築しようとする生徒を育成する。思いやりや相手を尊重する態度を養う。				1学期を土台とし、「合唱コンクール」を通して、生徒同士が互いに認め合える集団、ルールとマナーなどを大切にする集団の育成を目指す。身近な人の生き方や価値観に触れ、自分を見つめ直し、自ら進路を切り拓く意欲を育成する。						
各教科						社会科：「アフリカ州」 【外国人】 【人種差別】		社会科：「南アフリカ州」 【外国人】 【人種差別】				
特別の教科道徳	・よりよい学校生活 ・集団生活の充実	・思いやり、感謝 ・友情、信頼	・【公正、公平、社会正義】	・向上心、個性の伸張 ・【生命の尊さ】 ・遵法精神、公徳心 ・社会参画、公共の精神		保健体育科：「心身の発達と心の健康」 【人権全般】 【女性】 【子供】 【性自認】 【性的志向】	・礼儀 ・自主、自律、自由と責任	・自然愛護 ・感動、畏敬の念 ・家族愛、家庭生活の充実 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土愛	・伝統と文化の尊重 ・国を愛する態度	・よりよく生きる喜び		・希望と勇気、克己と強い意志 ・真理の探究、創造
人格の完成をめざして	・挨拶	・思いやり	・責任	・良心	・健康な体	・勇気	・公共心	・フェア	・感謝	・やりぬく心		・学校を愛する心
教科日本語	(表現) 率直な自己表現、対話の基礎(哲学)視野を広げて考える、人との関わりを考える、メディアリテラシー(日本文化)食・食べる①											
総合的な学習の時間	・総合的な学習の時間のガイダンス ・ソーシャルトレーニングへの取組 ・移動教室への取組	・生徒総会への取組 ・中間考査への取組 ・運動会への取組 ・移動教室への取組	・移動教室の反省 ・期末考査の準備と反省	・1学期のまとめと反省 ・夏休みの過ごし方		・食育指導：農作業体験への取組(大蔵大根)				・百人一首への取組 ・進路学習への取組 ・「社会人の話を聞く会」への取組		
特別活動	・1学期の目標作り ・組織作り ・自己を知る ・授業規律の確立	・生徒総会への取組 ・中間考査への取組 ・運動会への取組 ・移動教室への取組	・移動教室の反省 ・期末考査の準備と反省	・1学期のまとめと反省 ・夏休みの過ごし方		・夏休みの反省 ・2学期の目標作り ・中間考査の準備と反省	・後期組織作り ・合唱コンクールへの取組	・期末考査の準備と反省 ・三者面談	・三者面談 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・冬休みの反省 ・3学期の目標作り ・百人一首への取組 ・学習成果展覧会への取組	・学年考査の準備と反省 ・学習成果展覧会の振り返り	・卒業式への取組 ・1年間の振り返り
主な行事	・入学式 ・新入生歓迎会 ・身体計測 ・保護者会 ・生徒総会 ・三者面談	・保護者会 ・運動会 ・中間考査 ・学校公開期間	・ネットリテラシー ・道徳授業 ・いじめ防止プログラム ・移動教室 ・期末考査	・第1回進路説明会 ・卒業式 ・三者面談		・始業式 ・生徒会役員選挙 ・中間考査 ・第2回進路説明会	・合唱コンクール	・新入生部活動体験 ・学校公開期間 ・新入生保護者説明会 ・期末考査	・三者面談 ・終業式	・始業式 ・学習成果展覧会 ・新入生保護者説明会 ・学年末考査	・学校公開期間 ・学習成果展覧会 ・新入生保護者説明会 ・学年末考査	・学年末考査 ・保護者会 ・卒業式 ・修了式 ・離任式

令和7年度 特別の教科道徳 年間指導計画 1年

月	内容項目・教材名 【内容項目を限定しない】	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の学習を始めよう 【B(6)思いやり、感謝】 2 父の言葉	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていくようとする実践意欲と態度を育てる。 黒柳徹子さんが福祉やユニセフに携わる出発点となった少女時代の出来事を描いた文章を通して、相手のことを考えて行動するときには大切なのはどんなことかを考えさせ、思いやりや心の心をもつて人と接していくようとする心情を育てる。	★1年間の道徳の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「道徳の学習を始めよう」を読んで、これからの道徳科の学びの見通しをもつ。 3 本時の学びを振り返る。
5月	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 1.1 みんなで成功させよう 【B(7)礼儀】 4 学習机	文化祭準備のグループのリーダーになった信雄の悩みを通して、よりよい集団の一員であるためには、どんな考えが大切なのかについて考えさせ、自分の役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。 お客さまを相手にトラブルを起こした新入社員「私」が、自分の考えを改めていく姿を通して、人と関わる時に大切な礼儀の心とはどんなものかについて考えさせ、相手への敬意、時と場に応じた行動を取ろうとする心情を育てる。	★よりよい集団の一員であるためには、どんな考えが大切なのだろう。 1 これまでに、集団での活動にどのようなように関わってきたかを振り返る。 2 「みんな成功させよう」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する
6月	【B(8)友情、信頼】 7 親友 【C(11)公正、公平、社会正義】 8 魚の涙	異性の友達と友情を育んできた「僕」の物語を通して、心から信頼できる友達とはどんな存在かについて考えさせ、友達の尊厳を理解し、人間関係を深めようとする心情を育てる。 筆者が中学生時代の経験をもとに記した文章を通して、誰かが不公平な状況にあるときにどんな考えをもつことができるかについて考えさせ、自分の弱さや向き合い、正義を大切に公正であろうとする判断力を育てる。	★心から信頼できる友達とは、どんな存在なのだろう。 1 自分にとって、友情とは何かを考える。 2 「親友」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。 ★誰かが不公平な状況にあるとき、あなたは、どんな考えがもてるだろう。 1 筆者について確認する。 2 「魚の涙」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
7月	【C(11)公正、公平、社会正義】 9 いつもの教室の中で (まなびをプラス) 【A(5)真理の探究、創造】 10 レタス博士 【D(19)生命の尊さ】 12 ひまわり 【C(12)社会参画、公共の精神】 2.0 初めてのボランティア	AさんからDさんの立場で、同じいじめの場面を見た漫画を通して、いじめが起らないようにするためにどうすればよいのかを考えさせ、社会をよりよいものにするために、自分の立場に目を向け、公正であろうとする実践意欲と態度を育てる。 親友の樹里がレタスの研究に取り組み姿やそれを誇らしく感じる「私」が描かれた教材を通して、真理を探究する心について考えさせ、好奇心をもつて真実を求め、新しいものを生み出そうとする心情を育てる。 東日本大震災で家族を失った佐々木さんの思いを通して、命のどんなところに尊さを感じるのかを考えさせ、自他の命を大切にしていこうとする心情を育てる。 初めてのボランティアで、喜びや達成感を得た「私」の物語を通して、ボランティアなどを通して社会に関わることで得られるものは何かについて考えさせ、社会参画の意識と社会連帯の大切さについて考えようとする心情を育てる。	★いじめが起らないようにするために、どうすればよいのだろう。 1 悪ふざけをしてしまった経験を振り返る。 2 「いつもの教室の中で」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。 ★真理を探究する心について、考えよう。 1 これまでに、自由研究にどのような思いで取り組んできたかを振り返る。 2 「レタス博士」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。 ★私たちは、命のどんなところに尊さを感じるのだろう。 1 東日本大震災についての知識を確認する。 2 「ひまわり」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。 ★ボランティアなどを通して社会に関わることで得られるものは、何だろう。 1 ボランティア活動などに参加した経験を振り返る。 2 「初めてのボランティア」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する
9月	【A(4)希望と勇氣、克己と強い意志】 13 夢を諦めない——「ねぶた師」北村麻子	初の女性ねぶた師・北村麻子さんが、夢を抱き、実現していく姿を描いた文章を通して、夢をかなえるために大切なことは何かについて考えさせ、夢や目標に向かい、困難を乗り越え、希望をもつてやり放ちこうとする実践意欲と態度を育てる。	★夢をかなえるために大切なことは、何だろう。 1 自分の夢や目標を発表し合う。 2 「夢を諦めない——『ねぶた師』北村麻子」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
9月	【A(3)向上心、個性の伸長】 14 見方を変えようと	リフレミングのグループワークを通して、個性を伸ばすために大切なのは、どんなことかを考えさせ、自己を見つめ直し、短所も含めた自分の個性を肯定的に捉え伸ばしていこうという実践意欲と態度を育てる。	★個性を伸ばすために大切なのは、どんなことだろう。 1 自分の短所と長所を思い浮かべる。 2 「見方を変えようと」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 15 裏庭での出来事	友達との判断に流され、ガラスを割ったことを正直に言えなかったことに悩む雄の姿を通して、自分の行動に責任をもつとはどういうことかについて考えさせ、自ら考え、誠実に行動し、その結果に責任をもつようとする判断力を育てる。	★自分の行動に責任をもつとは、どういうことだろう。 1 自分の行動に無責任になった経験を振り返る。 2 「裏庭での出来事」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(20)自然認識】 16 「ソーセージ」の悲しい最後	観光客の身勝手な振る舞いや原因で駆除されてしまったヒゲタのエピソードを通して、人と自然がよりよい関係を築くためにはどんな考えが必要かについて考えさせ、人間と自然とのよりよい関わり方を求め、自然を尊重しようとする判断力を育てる。	★人と自然がよりよい関係を築くためには、どんな考えが必要だろう。 1 野生動物に関する自分の経験を振り返る。 2 「ソーセージ」の悲しい最後」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 17 わかり合うために	街中で無視されたと憤るAさん、友達にないがしろにされたと落ち込むBさんの事例を通して、自分と異なる他者とわかり合うことについて考えさせ、一方的な見方で判断せず、相手の立場や考えを理解・想像し、尊重しようとする判断力を育てる。	★自分と異なる他者とわかり合うことについて、考えよう。 1 相手とわかり合うために思っている経験を振り返る。 2 「わかり合うために」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(2)節度、節制】 18 使わずぎって、どういうこと？ (まなびをプラス)	スマートフォンやタブレット端末の使い方についてのグループワークを通して、節度ある端末の使い方について考えさせ、節度を守り、節制の意義を考え、それを心がけようとする実践意欲と態度を育てる。	★節度ある端末の使い方について、考えよう。 1 自分の端末の使い方を振り返る。 2 「使わずぎって、どういうこと？」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
10月	【A(1)自主、自律、自由と責任】 3 自分で決めるって？	部活動や定期テスト、新たな人間関係づくりなど、入学時に直面する中学校生活特有の場面から、自分で何かを「決める」ときに大切なのはどんなことかを考えさせ、自主的に考え行動し、その責任を全うする判断力を育てる。	★自分で何かを「決める」ときに大切なのは、どんなことだろう。 1 自分で考え、判断した経験を振り返る。 2 「自分で決めるって？」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(2)節度、節制】 5 「養生訓」より	貝原益軒の「養生訓」を取り上げた漫画を基に、自分の生活を見直させ、心と体の健康に気をつけ、望ましい生活習慣を身につけようとする実践意欲と態度を育てる。	★自分の生活を見直そう。 1 毎日を健康的に過ごしているかを振り返る。 2 「『養生訓』より」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 19 僕の家族、地球の家族	世界を旅し、さまざまな家族と出会ってきた長倉洋海さんの文章を通して、家族について考えさせ、自分なりに家族に対する考えをもつようとする心情を育てる。	★家族について、考えよう。 1 家族に対して反省して、後悔した経験はないかを振り返る。 2 「僕の家族、地球の家族」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(6)思いやり、感謝】 6 席を譲ったけれど	中学生が高齢者にバスで席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と、その反響を通して、人を思いやりるときに大切なことは何かについて考えさせ、思いやりや感謝の心をもつて他者に接していこうとする判断力を育てる。	★人を思いやりるときに大切なことは、何だろう。 1 「思いやり」についての認識を確認する。 2 「席を譲ったけれど」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 21 動物の命——私たちにできること	犬や猫の殺処分や保護の活動に関する三つの資料を通して、身近な生き物の命について考えさせ、かけがえのない命を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★身近な生き物の命について、考えよう。 1 「生命の尊さ」についての、これまでの学びを振り返る。 2 「動物の命——私たちにできること」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
11月	【C(10)遵法精神、公德心】 22 仏の鏡蔵	高利貸しの男とその男から金銭を借りていた人々の物語を通して、法やきまりを守る心について考えさせ、法やきまりの自律的な捉え方を意識し、法やきまりを守ろうとする自尊心を大切にしようとする心情を育てる。	★法やきまりを守る心について、考えよう。 1 「高利貸し」と「証文」の意味を確認する。 2 「仏の鏡蔵」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(10)遵法精神、公德心】 23 白いスニーカー (まなびをプラス)	部内の暗黙のきまりを巡るさまざまな意見を通して、きまりについて考えさせ、自他の権利を大切にしたいよりよいきまりの在り方を求めようとする実践意欲と態度を育てる。	★きまりについて、考えよう。 1 きまりに納得できなかった経験を振り返る。 2 「白いスニーカー」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
12月	【C(13) 勤労】	がん患者専門の美容師やごみ削減の啓発活動に取り組む清掃職員の仕事への思いや考え方を通して、人が働く理由とはどのようなものかについて考えさせ、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てる。	★人が「働く」理由とは、どのようなものだろう。 1 働くことについての意識を確認する。 2 「私が働く理由」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9) 相互理解、寛容】	右手に障害がある女性がインターネット上に発信したメッセージを通して、人と人とのつながり合うために大切なことは何かについて考えさせ、自分の考えを相手に伝え、それぞれの違いを前向きに受け止めていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★人と人とのつながり合うために大切なことは、何だろう。 1 相互理解についてのイメージを出し合う。 2 私の話を聞いてね」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(11) 公正、公平、社会正義】	過去にハンセン病にかけられた差別について書かれた記事を通して、差別や偏見のない社会を目指して、自分たちができることは何かを考えさせ、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	★差別や偏見のない社会を目指して、私たちができることは、何だろう。 1 見聞きしたことのあある差別や偏見を出し合う。 2 「差別の根底にあるものは？」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	26 差別の根底にあるものは？		
1月	【C(18) 国際理解、国際貢献】	川の両岸に住む肌の色や髪の色、服装が異なる女の子と男の子の物語を通して、他国の人と理解し合うために大切なことはどんな心かを考えさせ、他国で生きる人と互いに尊重し合い、世界の平和を大切にしようとする心情を育てる。	★他国の人と理解し合うために大切なことは、どんな心だろう。 1 外国の人に対する意識を共有する。 2 「むこう岸には」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	27 むこう岸には		
	【C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	新が和菓子職人として働く外国人の友人と伝統文化について語り合う物語を通して、伝統を受け継いでいくためにはどんな考えが大切なのかについて考えさせ、伝統を継承し、新しい文化の創造に寄与しようとする心情を育てる。	★伝統を受け継いでいくためには、どんな考えが大切なのだろう。 1 日本の伝統や文化で知っているものを挙げる。 2 「レオナルドと僕」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	28 レオナルドと僕		
2月	【D(19) 生命の尊さ】	死を迎えようとする老人とそれを見守る家族を描いた文章と写真を通して、「生きる」とはどういうことかを考えさせ、尊厳ある生と死の在り方について考えていこうとする心情を育てる。	★「生きる」とは、どういうことだろう。 1 エルマおばあさんの写真を見て印象を話す。 2 「エルマおばあさんからの『最後の贈りもの』」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	29 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」		
	【C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	郷土への思いが込められた歌「島人ぬ宝」や資料を通して、自分の暮らす地域に目を向けさせ、地域や郷土にあるよさに気づき、それらを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	★自分の暮らす地域に目を向けよう。 1 自分が暮らす地域の「宝」(特長)を出し合う。 2 「自分の地域の『宝』って？」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	30 自分の地域の「宝」って？		
3月	31 銀色のシャープペンシル	友達にシャープペンシルを自分のものにしてしまったことを言い出せなかった「僕」の姿を通して、心の弱さ乗り越えさせるものとは何かについて考えさせ、自身の弱さを乗り越えて人として誇りをもって生きようとする判断力を育てる。	★心の弱さを乗り越えさせるものとは、何だろう。 1 これまでの自分の経験を振り返る。 2 「銀色のシャープペンシル」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(21) 感動、畏敬の念】	屋久島の原生林に触れた「私」の思いを通して、人の感動の源にあるものを見つめさせ、人が、人間の力を超えたものを前に心動かされるその思いを大切にしようとする心情を育てる。	★感動の源にあるものを見つめよう。 1 自然に対して感動した経験を話し合う。 2 「命の木」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	32 命の木		
	【D(21) 感動、畏敬の念】	自身の感動の経験を深く語り合うことを通して、「感動」の本質を考えさせ、「感動」を自分の生き方を豊かにすることにつながるようとする実践意欲と態度を育てる。	★「感動」の本質について友達と一緒に考え、自分の生き方を豊かにしよう。 1 これまで、どんなものや出来事に感動したことがあるのか、思い出して話し合う。 2 「感動」の本質を探ろう」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	33 「感動」の本質を探ろう (まなびをプラス)		
3月	【D(22) よりよく生きる喜び】	フォト・ジャーナリストの吉田ルイ子さんがベトナム戦争取材中に抱いた葛藤を記した文章を通して、人としてよりよく生きるとはどういうことかを考えさせ、自分の心と向き合い、弱さを乗り越え、自分らしく生きようとする心情を育てる。	★人としてよりよく生きるとは、どういうことだろう。 1 「よりよく生きる」とはどういうことか、具体的に考えてみる。 2 「撮れなかった一枚の写真」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	34 撮れなかった一枚の写真		
	【内容項目を限定しない】	これまで記入した「まなびの記録」や「ありがとう」の詩を基に、1年間の道徳科で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★この1年間で学んだことを振り返ろう。 1 1年間の道徳科の学びを振り返る。 2 「1年間の学びを振り返ろう」を読んで考える。 3 詩を参考にメッセージを書く。
	35 1年間の学びを振り返ろう		

令和7年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 1 学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かしながら、将来の予測が困難な社会を「生き抜く力」と「自ら展望して理想に向かう力」の育成・強化を図る。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第1学年のテーマおよび年間指導計画

「地域を知る」

地域の特色やその歴史・文化、地域の職業に関する探究的な学習を通して、地域の一員である自覚を深めながら、今後の学習や生活の在り方に積極的に活かすことができる生徒を育成する。

月	単元	内容	時数
4	総合的な学習の時間のガイダンス	総合的な学習の学年のテーマと目標	1
5	移動教室への取組1	移動教室の概要、事前学習	2
6	ネットリテラシー醸成講座	ネチケットを含むネットマナーの講習	1
	移動教室への取組2	集団作り	8
	移動教室への取組3	事後学習1	1
7	移動教室への取組4	事後学習2	1
	農作業体験への取組（地域学習）	農家の方からの話（喜多見地区を学ぶ）	1
		地域のもつ「課題」について考える	1
9	農作業体験（食育）への取組	草取り 施肥	2
		種まき 寒冷紗設置	
		発芽観察 草取り	
	キャリア教育1	進路選択の考え方	2
10	農作業体験（食育）への取組	間引き 草取り	1
	大根料理	間引き菜料理	1
	キャリア教育2	職業調べ	2
11	安全教育	交通安全教室、事後学習	2
12	農作業体験（食育）への取組	収穫	2
	大根料理	大根料理	1
1	キャリア教育3	自分探し	2
2		キャリアパスポートの作成	1
3			

計32時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和7年度 教科「日本語」年間指導計画 1学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自分自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

2 1学年の年間指導計画

月	領域	単元	時数
4	表現	視野を広げて考える 「各国語辞典の個性を楽しみ、言葉に興味をもつ」	1
7	表現	相手・場面とことば① 伝統文化の継承「落語」解説	1
7	表現	相手・場面とことば② 「落語」―相手に伝わる表現を工夫する―（講師：笑福亭羽光氏）	1
9	哲学	人とかかわりについて考える 「自分が『なりたい大人』について、考える」	1
10	日本文化	「食」―食べる1 食物と自然	1
10	日本文化	日本の発酵文化	1
10	日本文化	未来に伝えていきたい日本の「食」	2
10	哲学	新聞を活用して考えるーメディアリテラシー①（講師：読売新聞社）	1
10	哲学	対話の基礎②「質問力」（講師：読売新聞社）	1
11	表現	知的書評合戦 ビブリオバトル（講師：学校司書 他）	2
12	表現	率直な自己表現	1
1	日本文化	和歌に親しもう 百人一首（百人一首大会）	2
1	日本文化	伝統文化の継承「盆石」	1
2	哲学	生きることについて考える（講師：おおぞら高校）	1
3	哲学	自然とともに生きること考える 「持続可能な社会を目指して」（講師：佐藤氏「らくうえる」）	1

計 18 時間

※単元や内容を変更することがあります。

※行事等の都合で、実施時期がずれる場合があります。

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年国語科】

担当：渡邊 訓子

主体的態度（主体的に学習に取り組む態度）

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	○朝のリリース ○野原はうたう	詩の特徴を生かして音読する。 情景や心情を想像しながら音読する。	知・技 (1) ア 思・判・表 A (1) ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	音読の仕方を工夫しながら音読している。 音読の仕方を工夫しながら音読している。 作品の特徴や語句の意味を捉え、自分なりの考 えをまとめている	定期考査 ワークシート
		○声を届ける 書き留める 葉を調べる 続けてみよう	音読・発表の仕方・ノートの取り方について学 び、小学校との違いを理解する。	知・技 (1) ア 知・技 (2) イ・ (3) オ 思・判・表 B (1) ア	知・技 思・判・表 主体的態度	国語の学習で行う音読・発表・ノートの取り方 などを学び、身につけていようとしている。	定期考査 ワークシート
	5 月	1 学びをひらく ○はじまりの風	主人公の気持ちちがわかる様子や行動、会話を押 さえ、そこに表現された気持ちちを考える。	知・技 (1) ウ 思・判・表 C (1) イ (2) イ	知・技 思・判・表 主体的態度	情景描写に着目し、登場人物の変化を捉えてい る。	定期考査 ワークシート
		○情報を聞き取り、要点を伝え る	書く観点を決め、情報を整理する。 わかりやすく伝えるための構成を考え、短い文 や言葉でメモを書く。	知・技 (1) ウ・ (2) イ 思・判・表 A (1) ア・エ 思・判・表 A (2) ア	知・技 思・判・表 主体的態度	身近な生活の中から、目的や相手に応じた情報 を集め、観点を決めて整理して、分かりやすい 文章を書いている。	ワークシート
		○音声の仕組みや働き ○漢字の組み立てと部首	音声の働きや仕組みについて、理解を深める。 偏旁冠脚と部首の種類を理解する。	知・技 (1) ア 知・技 (1) イ	知・技 主体的態度	音声の働きや仕組みについて、理解を深めてい る。 漢字の組み立てと部首について理解している。	定期考査 ワークシート 定期考査 ワークシート
2 学期	6 月	2 新しい視点で ○ダイコンは大きな根？	「問い」を投げかけている段落と、それに対する 「答え」を示している段落を探す。また、それ以 外の段落がどんな役割をもっているのか考え る。 本文を三つのまとまりに分け、それぞれのまと まりの内容を捉える。	知・技 (2) イ 思・判・表 C (1) ア 思・判・表 A (2) ア	知・技 思・判・表 主体的態度	問題提起の段落や、根拠を述べている段落な ど、段落の役割のの違いに気付き、筆者の工夫を 理解している。	定期考査 ワークシート
		○ちよっと立ち止まって	聞き手がわかりやすいように、話の構成や順序 を考える。	知・技 (2) ア 思・判・表 C (1) ア 思・判・表 A (2) ア	知・技 思・判・表 主体的態度	文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を 理解している。	定期考査 ワークシート
		○情報を整理して説明しよう	文法の定義や性質を確認する。 段落に着目して読むことで、文章の内容や構成 がつかみやすくなることを理解する。	知・技 (1) ア 思・判・表 A (1) ア・イ	知・技 思・判・表 主体的態度	「スピーチの例」の構成を基に、自分の思いや考 えを、聞き手に伝わるように話している。	定期考査 ワークシート
	7 月	○指示する語句と接続する語句	文法の定義や性質を確認する。 段落に着目して読むことで、文章の内容や構成 がつかみやすくなることを理解する。	知・技 (1) エ	知・技 主体的態度	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きに ついて整理した内容を理解している。	定期考査 ワークシート
		○情報整理のレッスン 比較・分類	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしか たについて理解を深め、それらを活用する。	知・技 (2) イ	知・技 主体的態度	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしか たについて理解を深め、それらを使っている。	定期考査 ワークシート
3 学期	7 月	3 言葉に立ち止まる ○空の詩三編	詩を読み味わい、感じたことや考えたことを伝 え合う。	知・技 (1) ウ・オ 思・判・表 B (1) ウ 思・判・表 C (1) エ	知・技 思・判・表 主体的態度	詩を読み味わい、感じたことや考えたことを伝 え合うことができる。	定期考査 ワークシート
		○比喩で広がる言葉の世界	比喩について理解し、言葉について考えたこと をまとめる。	知・技 (1) オ 思・判・表 C (1) ア	知・技 思・判・表 主体的態度	比喩などの表現技法を理解して使うことができ る。	定期考査 ワークシート

令和7年度 年間指導計画・評価計画【1年国語科】

担当：渡邊 訓子
主体的態度（主体的に学習に取り組む態度）

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点 知・技 主体的態度	評価規準	評価方法
1 学 期	7 月	○さまざまな表現技法	表現技法によるリズムの違いや効果について考 える。	知・技（1）オ	知・技 主体的態度	言葉の並べ方の工夫や比喩について、それぞれ の表現上の特質などを理解している。	定期検査 ワークシート
		○語彙を豊かに	自分の心情に合う言葉を集め、五感を磨き語彙 を豊かにする。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き 語彙を豊かにしている。	定期検査 ワークシート
		○読書を楽しむ 本の中の中学生	これまでに読んだ本の中からおすすめの1冊を 選び、紹介する。	知・技（3）オ 思・判・表C（1）オ	知・技 思・判・表 主体的態度	作品に書かれているものの見方や考え方を捉 え、自分のものの見方や考え方を広くしてい る。	ワークシート 発表
2 学 期	9 月	4 心の動き ○大人になれなかった弟たちに	作品の描写を読み取り、登場人物の気持ちを考 える。作品に描かれた時代を考えながら、「大人 になれなかった弟たちに.....」という題名のもつ 意味について話し合い、命の大切さを考える。	知・技（3）オ 思・判・表C（1）イ 思・判・表C（2）イ	知・技 思・判・表 主体的態度	情景や人物描写に着目して登場人物の心情を詠 み取っている。	定期検査 ワークシート
		○星の花が降るころに	場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化とそ の理由を整理する。	知・技（1）オ 思・判・表C（1）ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	情景描写に着目し、登場人物の心情の変化を捉 えている。	定期検査 ワークシート
		○聞き上手になろう	「絞る質問」「広げる質問」を身に付け、対話 の練習を行う。	思・判・表A（1）エ	思・判・表 主体的態度	相手のスピーチに耳をかたむけ、質問の仕方を 工夫することができている。	ワークシート 授業観察
1 0 月		○方言と共通語	方言と共通語の特徴や役割について考える。	知・技（3）ウ	知・技 主体的態度	方言や共通語の果たす役割について理解するこ とができる。	定期検査 ワークシート
		○漢字の音訓	漢字には「音」と「訓」があることを理解し、 語彙を広げる。	知・技（1）ア	知・技 主体的態度	漢字の音・訓について理解し、既習の漢字におい ても音・訓について調べ、語彙を広げている。	定期検査 ワークシート
		5 筋道を立てて ○「言葉」をもつ鳥シジュウカ ラ	記録の文章を読み、理解したことや考えたこと を報告したり、文章にまとめたりする。	知・技（2）ア 思・判・表C（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	筆者の意見と、それを支える根拠との関係を、 つかむことができている。	定期検査 ワークシート
1 1 月		○根拠を明確にして書く	根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わるよう 工夫して文章を書く。	知・技（2）イ 思・判・表B（1）イ・ウ 思・判・表B（2）ア	知・技 思・判・表 主体的態度	根拠が明確になるように段落の役割などを意識 して文章の構成や展開を考えて文章を書くこと ができる。	ワークシート
		○意見と根拠	原因と結果、意見と根拠など、情報と情報の関 係について理解する。	知・技（2）ア	知・技 思・判・表 主体的態度	原因と結果、意見と根拠など、情報と情報の関 係について、理解することができている。	定期検査 ワークシート
		○大阿蘇	言葉のリズムや響きを大切にしながら朗読す る。	知・技（1）ウ 思・判・表C（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	進んで表現の効果について考え、今までの学習 を活かして音読しようとしている。	定期検査 ワークシート 授業観察
	6 月	いにしえの心にふれる ○音読を楽しもう いろは歌	「いろは歌」を仮名遣いに注意して音読する。	知・技（3）ア	知・技 主体的態度	「いろは歌」を音読し、現代語訳を参考に、古 典に親しんでいる。	定期検査 ワークシート
		○蓬萊の玉の枝―「竹取物語」 から	仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズム を通して、その世界に親しむ。	知・技（3）ア 思・判・表C（1）イ	知・技 思・判・表 主体的態度	「蓬萊の玉の枝」を音読し、描かれている古典 の世界を想像している。	定期検査 ワークシート

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2学期	1月	○今に生きる言葉	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにします。	知・技（3）ア 思・判・表B（1）イ 思・判・表C（1）オ	知・技 思・判・表 主体的態度	調べた故事成語の中から、自分の体験に関連するものを選び、体験文を書いている。	定期考査 ワークシート
	7	価値を見いだす					
	○「不便」の価値を見つめ直す	説明の文章を読み、理解したことや考えたことをまとめたり、人に伝えたりする。	知・技（2）ア・イ 思・判・表B（1）ウ 思・判・表C（1）ウ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	定期考査 ワークシート	
	○原因と結果	原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解する。	知・技（2）ア	知・技 主体的態度	原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。	定期考査 ワークシート	
	○進め方について考えよう	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。	知・技（2）ア 思・判・表A（1）オ	知・技 思・判・表 主体的態度	意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。	定期考査 ワークシート	
	○書写 楷書・行書の特徴を学ぶ	楷書や行書の特徴を学び、字形を整えて、書く。	知・技（3）エ	知・技 主体的態度	字形を整え、文字の大きさと配列などに注意して、楷書を書くことができる。 行書の書き方を理解して、身近な文字を行書で書くことができる。	定期考査 ワークシート	
	○話題や展開を捉えて話し合おう	意見と根拠など、情報と情報との関係について理解する。	知・技（2）ア	知・技 主体的態度	意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。	定期考査 ワークシート	
3学期	1月	読書に親しむ 四百年のスローライフ／ はやぶさ2 最強ミッション の真実	読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。	知・技（3）オ 思・判・表C（1）オ 思・判・表C（2）ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	読書の意義を考え、自分の考えを広げることができる。	定期考査 ワークシート
	8 自分を見つめる ○少年の日の思い出	「僕」の「エーミール」に対する気持ちが表現されている部分に着目して、「僕」の心情を捉える。 最後に収集したちやうを潰す「僕」の行動の理由と心情を捉える。	知・技（1）ウ 思・判・表B（1）イ 思・判・表C（1）エ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えていく。	定期考査 ワークシート	
	○単語の性質を見つけよう	単語の分類を理解する。	知・技（1）エ	知・技 主体的態度	単語の類別や役割について理解することができる。	定期考査 ワークシート	
	○二十歳になった日	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。	知・技（1）ウ 思・判・表C（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	定期考査 ワークシート	
	○構成や描写を工夫して書こう	内容が明確になるように、構成や描写を考えて書く。	知・技（1）ウ 思・判・表B（1）イ・ウ 思・判・表B（2）ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	書く内容の中心が明確になるように段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えていく。	定期考査 ワークシート	
	○漢字の成り立ち	「象形」「指事」「会意」「形声」を用例と共に確認する。	知・技（1）ア	知・技 主体的態度	漢字の成り立ちについて理解することができる。	定期考査 ワークシート	
	振り返り ○一年間の学びを振り返ろう	一年間の学びを振り返り、まとめる。	知・技（2）イ 思・判・表A（1）ウ 思・判・表B（1）ア	知・技 思・判・表 主体的態度	1年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。	ワークシート	

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 社会科】

担当：崎涼太、中村功

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	地理 第1編 第1章 世界の姿 1 私たちの住む地球を眺めて 2 世界の色々な国の特徴	世界の大陸と海洋、世界の国々に対する関心を高め、位置や名称、人口や面積を調べながら世界地図の活用の仕方につける。また、世界の国々や世界遺産に対する関心を高め、自ら調べようとする態度を育てる。	世界と日本の地域構成 ア イ 歴史のとらえ方 ア ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界の大陸と海洋に対する理解を高め、位置や名称、世界地図で調べることができる。また、世界の国々や世界遺産について意欲的に調べ、世界の国々に対する理解を深めている。	ノート 授業観察
		歴史 第1章 歴史の流れをとらえよう	日本の歴史の移り変わりに気づき、年代の表し方や時代区分についての基本的なことがらを理解する			年代の表し方や時代区分についての基本的なことがらや、大きな時代の移り変わりを理解している。	
	5月	地理 第1章 世界の姿 緯度と経度 地球儀と世界地図の違い 4 歴史 第2章 古代までの日本 世界の古代文明と宗教のおこり 第1節 第2節 日本列島の誕生と大陸との交流	地球儀や世界地図の基礎知識を学ぶ。特に、緯度と経度によって、地球上の様々な場所の位置を表す知識と技能を身に付ける。 世界の古代文明や宗教が生まれたこと、また、日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解する。 国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとの関わり、古墳の広まり、大和政権の統一を通して捉える。	世界と日本の地域構成 ア イ 古代までの日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界を構成する大陸と海洋の分布、緯度と経度による位置関係、世界の地域区分、主な国々の名称と位置などに対する関心を高め、それを意欲的に調べ、理解を深めようとしている。 古代文明や宗教が生まれたことに加え、古代の人々の生活の変化を理解している。 縄文時代と弥生時代の違いについて考察し、その過程や結果を適切に表現している。	ノート 授業観察 定期考査
		地理 第2章 日本の中の日本の位置 1 世界の中の日本の位置 2 日本と世界の時差 歴史 第3節 古代国家の歩みと東アジア世界 6月	日本の姿を、緯度や経度における日本の位置、世界の時差、領域の特色、近隣諸国との領土問題などから考察する。また、日本の都道府県と都道府県庁所在地の名称と位置について理解する。 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開されたことを、厩戸皇子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至る過程、摂関政治を通して理解する。	世界と日本の地域構成 ア イ 古代までの日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界と日本とを比べるなど、その関わりについて考察し、世界の中の日本として、自国の姿を理解している。また、日本の地域構成として47都道府県や都道府県庁所在地の位置と名称を理解している。 厩戸皇子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開されたことを理解する。	ノート 授業観察 定期考査
2学期	7月	地理 第3編 日本の領域とその特徴 4 都道府県と都道府県庁所在地 歴史 第3節 古代国家の歩みと東アジア世界 7月	日本の姿を、緯度や経度における日本の位置、世界の時差、領域の特色、近隣諸国との領土問題などから考察する。また、日本の都道府県と都道府県庁所在地の名称と位置について理解する。 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開されたことを、厩戸皇子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至る過程、摂関政治を通して理解する。	世界と日本の地域構成 ア イ 古代までの日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界と日本とを比べるなど、その関わりについて考察し、世界の中の日本として、自国の姿を理解している。また、日本の地域構成として47都道府県や都道府県庁所在地の位置と名称を理解している。 厩戸皇子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開されたことを理解する。	ノート 授業観察

指導の観点：知識・技能
思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
9月		地理 第2章 第1節 世界のさまざまな地域 人々の生活と環境	人々の生活と環境との関わりや、さまざまな条件下で多様な生活を営んでいることを理解するとともに、異なる文化を尊重する態度を身に付ける。	世界のさまざまな地域 人々の生活と環境	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界各地の人々の多様な生活の営みや、異なる文化の存在を尊重する態度を身に付けている。	ノート 授業観察 定期考査
		第2章 第1節 世界の諸地域 アジア州	アジア州の自然環境や、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。	世界の諸地域 アジア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	アジア州について、急速に発展する国々の様子を理解するとともに、その過程において生じた各国の課題や問題について理解している。	
10月		歴史 第3章 第2節 中世の日本 東アジアとの関わりと 社会の変動	平安時代の社会から生まれた武士が、次第に力をつけ、鎌倉幕府が成立するに至る経緯のあらましを理解する。	世界の諸地域 アジア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	武士が台頭し、武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり武家政権が発展していったことを理解している。	ノート 授業観察
		第2章 第1節 世界の諸地域 アジア州	アジア州の自然環境や、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。	世界の諸地域 アジア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	アジア州について、急速に発展する国々の様子を理解するとともに、その過程において生じた各国の課題や問題について理解している。	
11月		地理 第2章 第2節 ヨーロッパ ヨーロッパ	ヨーロッパの自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。	世界の諸地域 アジア 中世の日本 アジア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	ヨーロッパについて、小国が多いこと、地域により異なる農業が盛んなこと、世界経済における地位が低下してきた様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。	ノート 授業観察 定期考査
		歴史 第2節 モンゴル モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを理解する。	モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを理解する。	世界の諸地域 アジア 中世の日本 アジア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察している。	
12月		地理 第3章 第2節 アフリカ アフリカ	アフリカの地域の特色を理解するために、「特定の生産品に頼る生活からの変革」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。	世界の諸地域 アジア 中世の日本 アジア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	アフリカの自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、アフリカ州が生産物の開拓や輸出のための技術を開発して傾いていくことに迫られている。	ノート 授業観察
		歴史 第2節 武士の政権の対立	モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを理解する。	世界の諸地域 アジア 中世の日本 アジア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察している。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 社会科】

担当：崎涼太、中村功

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	地理 第2章 世界の諸地域 第4節 北アメリカ州 第5節 南アメリカ州 歴史 第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出 会いと全国統一	北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。 南アメリカ州の地域的特色を理解するため、「開発の進展と環境問題」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。 織田信長と豊臣秀吉、および江戸幕府の諸政策を通して、新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解する。	世界の諸地域 ア イ 世界の諸地域 ア イ 近世の日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	北アメリカ州について、大陸と島々からなる自然環境、新しい文化、産業と経済の地域差などの特色を概観し、それぞれ基礎的・基本的な知識を理解している。 南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に開発の進展と環境問題に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究している。 織田信長と豊臣秀吉が全国統一を行った過程や支配の特色について理解し、その知識を身に付けている。	授業様子 ノート
	2 月	地理 第5節 南アメリカ州 歴史 第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出 会いと全国統一	南アメリカ州の地域的特色を理解するため「開発の進展と環境問題」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。 織田信長と豊臣秀吉、および江戸幕府の諸政策を通して、新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解する。	世界の諸地域 ア イ 近世の日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に開発の進展と環境問題に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究している。 織田信長と豊臣秀吉が全国統一を行った過程や支配の特色について理解し、その知識を身に付けている。	授業観察 ノート 定期考査
	3 月	地理 第2章 世界の諸地域 第6節 オセアニア州 歴史 第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出 会いと全国統一	オセアニア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。 織田信長と豊臣秀吉、および江戸幕府の諸政策を通して、新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解する。	世界の諸地域 ア イ 近世の日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	オセアニア州について、「アジア州との結び付き」の学習テーマを基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 織田信長と豊臣秀吉が全国統一を行った過程や支配の特色について理解し、その知識を身に付けている。	授業観察 ノート

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 数学科】

担当：三津間響己

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ◇主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	1章 正負の数 1節 正の数の数 2節 正の数の負の数の計算 3節 正の数の負の数の利用	①九九表の数の並びから、いろいろな決まりを見いだし、説明することができる。 ②自然数をいくつもの数の積で表すことのよさや素因数分解の意味を理解する。 ③素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 ◇素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 ☆自然数をいくつもの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだすことができる。 ○自然数をいくつもの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだすことができる。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート レポート提出 問題集提出 単元確認テスト 定期考査	
		2章 文字の式 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用	①文字を用いることの必要性和意味を理解することができる。 ②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解することができる。 ③1次式と数の乗法及び1次式を数でわる除法や、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。 ④数量の関係を文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすることができる。	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ◇文字を用いた式で乗法や除法の表し方を知っている。 ◇簡単な一次式の加法と減法の計算ができる。 ◇数量の乗法や除法などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ◇数量の乗法や除法などを文字を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ◇数量の乗法や除法などを式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ☆具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ○文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。		
	6月	3章 方程式 1節 方程式	①方程式や不等式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解することができる。 ②等式の性質を基にして、方程式が解けることを理解することができる。 ③簡単な1元1次方程式や比例式を解くことができる。	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ◇簡単な1元一次方程式を解くことができる。 ☆等式の性質を基にして、1元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ○1元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、1元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。		
1学期	5月		①正の数と負の数の必要性和意味を理解することができる。 ②小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解することができる。 ③正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ④具体的な場面と正の数と負の数の四則計算と関連付けて学習することができる。 ☆算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の計算方法を考察し表現することができる。 ☆正の数と負の数の乗法や除法などを活用することができる。	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 ◇正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ◇具体的な場面と正の数と負の数の四則計算と関連付けて学習することができる。 ☆算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の計算方法を考察し表現することができる。 ☆正の数と負の数の乗法や除法などを活用することができる。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート レポート提出 問題集提出 単元確認テスト 定期考査	
			①文字を用いることの必要性和意味を理解することができる。 ②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解することができる。 ③1次式と数の乗法及び1次式を数でわる除法や、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。 ④数量の関係を文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすることができる。	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ◇文字を用いた式で乗法や除法の表し方を知っている。 ◇簡単な一次式の加法と減法の計算ができる。 ◇数量の乗法や除法などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ◇数量の乗法や除法などを文字を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ◇数量の乗法や除法などを式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ☆具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ○文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。		
1学期	7月		①方程式や不等式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解することができる。 ②等式の性質を基にして、方程式が解けることを理解することができる。 ③簡単な1元1次方程式や比例式を解くことができる。	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ◇簡単な1元1次方程式を解くことができる。 ☆等式の性質を基にして、1元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ○1元1次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、1元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート レポート提出 問題集提出 単元確認テスト 定期考査	
			①文字を用いることの必要性和意味を理解することができる。 ②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解することができる。 ③1次式と数の乗法及び1次式を数でわる除法や、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。 ④数量の関係を文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすることができる。	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ◇文字を用いた式で乗法や除法の表し方を知っている。 ◇簡単な一次式の加法と減法の計算ができる。 ◇数量の乗法や除法などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ◇数量の乗法や除法などを文字を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ◇数量の乗法や除法などを式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ☆具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ○文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。		

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2学期	9月	3章 方程式 2節 方程式の利用	①1元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(3) イ(イ)	☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	☆一元二次方程式を具体的な場面で活用できる。 ○一元二次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一元二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	
		4章 変化と対応 1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例、反比例の利用	①関数関係の意味を理解することができる。 ②比例、反比例の意味を理解することができる。 ③座標の意味を理解することができる。 ④比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解することができる。 ⑤比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明することができる。	C関数(1) ア(ア) ア(イ) ア(イ) ア(ウ) ア(エ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇関数関係の意味を理解している。 ◇比例、反比例について理解している。 ◇座標の意味を理解している。 ◇比例、反比例を表、式、グラフに表すことができる。 ☆比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ☆比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○比例、反比例のよさに気付いて粘り強く考え、比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	
2学期	10月	5章 平面図形 1節 直線と図形 2節 移動と作図 3節 移動と作図の利用 4節 円とおうぎ形	①直線や角、円などに関する平面図形の基本的な性質や用語・記号について理解することができる。 ②平行移動、回転移動及び対称移動について理解し、2つの図形の関係について調べることができる。 ③角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解し、それを具体的な場面で活用することができる。 ④扇形の弧の長さや面積を求めることができる。	B図形(1) ア(ア) ア(イ) ア(イ) イ(イ) イ(イ) イ(ウ) B図形(2) ア(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇平行移動、対称移動及び回転移動を理解している。 ◇角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ☆図形の性質に着目し、基本的な作図の方法や二つの図形の関係について考察し表現することができる。 ☆図形の移動に着目し、考察し表現することができる。 ☆基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 ○平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとし、作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート プリント提出 問題集提出 単元確認テスト 学習調査 定期考査
		6章 空間図形 1節 立体と空間図形 2節 立体の体積と表面積 3節 空間図形の利用	①基本的な立体の特徴や、空間における直線や平面の位置関係について理解することができる。 ②空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものとしてとらえたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすることができる。 ③扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めることができる。	B図形(2) ア(ア) ア(イ) ア(イ) イ(イ) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇空間における直線や平面の位置関係を知っている。 ◇扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 ☆空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 ☆立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 ○空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとし、空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	
2学期	11月						
2学期	12月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 数学科】

担当：三津間響己

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3学期	1月	7章 データの活用 1節 ヒストグラムと度数分布表 2節 データにもとづく確率	①ヒストグラムや代表値、相対度数などの必要性和意味を理解する。 ②ヒストグラムや代表値などを用いて資料の傾向をとらえ説明することができる。 ③誤差の意味や範囲及び近似値の意味や表し方について理解することができる。 ④多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解する。 ⑤不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数から考察し、起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。	D データの活用 (1) ア(ア) ア(イ) ア(イ) ア(イ) ア(イ) D データの活用 (2) ア(ア) ア(イ) ア(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 ☆多数の観察や試行の結果を基にして不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができている。 ○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについての学んだことを生活や学習に生かそうとした上で、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート プリント提出 問題集提出 単元確認テスト 学習調査 定期テスト
		復習演習 総合演習 発展学習 A 数と式 B 図形 C 関数 D データの活用	①具体的な場面で正の数と負の数の数を用いて表したり処理したりして、問題解決に活用することができる。 ②数量の関係や法則などを文字を用いて式に表したり読み取ったりすることができる。 ③一元一次方程式を具体的な場面で活用し、問題を解決することができる。 ④基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 ⑤具体的な場面で空間における直線や平面の位置関係を考察することができる。 ⑥扇形の弧の長さや面積、立体図形の表面積や体積を求めることができる。 ⑦比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 ⑧比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ⑨目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ⑩多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	A 数と式(1) ア(イ) ア(ウ) イ(イ) ア(イ) A 数と式(2) ア(イ) ア(ウ) ア(エ) イ(ア) A 数と式(3) ア(イ) ア(イ) ア(イ) B 図形(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) B 図形(2) ア(イ) ア(イ) ア(イ) C 関数(1) ア(イ) ア(イ) ア(イ) D データの活用 (1) ア(ア) ア(イ) ア(イ) イ(ア) D データの活用 (2) ア(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現	◇基礎的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 ☆数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができている。 ☆図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察することができている。 ☆数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察することができている。 ☆データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察することができている。 ☆数学の事象や日常的な事象から見通しをもって問題を解いたり解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができている。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしていたりしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉えようとしていたりしている。 ○数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合おうとしたりしている。	
	3月				○主体的に学習に取り組む態度		

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年理科】 担当：加瀬義行

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	オリエンテーション 単元1 1章 生物の観察と分類のしかた	校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見ながら理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。	◆2分野(1)ア(ア) ⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察、生物の特徴と分類の仕方についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	5月	2章 植物の分類	色々な生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付ける。 身近な植物の観察を行い、共通点や相違点があることを見いだす。花のつくりを中心に、種子植物が被子植物と裸子植物に分類できることを理解する。 花のつくりを中心に、種子植物が被子植物と裸子植物に分類できることや、胚珠が種子になることを理解する。	◆2分野(1)ア(ア) ④、イ ◆2分野(1)ア(イ) ⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	生物の観察と分類の仕方についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
1学期	6月	3章 動物の分類	被子植物が単子葉類と双子葉類に分類できるところを理解し、それぞれの特徴から実際に分類を行う。 種子をつくらぬ植物が胞子をつくることを理解する。 植物の共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見いだして理解する。 身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだす。	◆2分野(1)ア(イ) ⑦、イ ◆2分野(1)ア(イ) ④、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	植物の体に関する観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための共通点や相違点を見いだしている。植物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に準拠して、科学的に探求しようとしている。 いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	7月	単元2 身のまわりの物質 身のまわりの物質と身の性質の性質 2章 気体の性質	動物の体の基本的なつくりを理解する。 動物の共通点や相違点に基づいて動物が分類できるところを見いだして理解する。 これまで学習してきた動物の分類を活用して、自分だけの生物図鑑をつくり、いろいろな生物の共通点によって図鑑が整理されていることを理解する。 身のまわりの物質の性質を様々な方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や収集法などの技能を身に付ける。	◆2分野(1)ア(イ) ⑦、イ ◆1分野(2)ア(ア) ⑦、イ ◆1分野(2)ア(ア) ④、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	動物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に準拠して、科学的に探求しようとしている。 身のまわりの物質とその性質についての概念等を理解し、観察、実験の基本操作を身に付けている。物質のすがたや性質における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。 物質のすがたや性質に関する事物・現象に準拠して、科学的に探求しようとしている。 気体の発生と性質についての概念等を理解し、科学的に探求するために必要な技能を身に付けている。 気体の発生と性質について、実験などを行い、規則性を見いだしているなど、科学的に探求している。 気体の発生と性質に関する事物・現象に準拠して、科学的に探求しようとしている。 気体の発生と性質に関する事物・現象に準拠して、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年理科】

担当：加瀬義行

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	3章 水溶液 4章 物質の状態変化	水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解する。 物質の状態変化についての観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化することが質量は変化しないことを見いだして理解する。 物質は融点や沸点を境に状態が変化することを知り、沸点の違うことによって物質の分離ができることを見いだして理解する。	◆1分野(2)ア(イ) ⑦, イ ◆1分野(2)ア(ウ) ⑦, イ ◆1分野(2)ア(ウ) ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	身のまわりの水溶液とその性質についての概念等を理解し、観察・実験の基本操作を身に付けている。 水溶液について問題を見いだし、物質の性質における規則性を表現するなど、科学的に探求している。 水溶液に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとしている。 状態変化と熱、物質の融点についての概念を理解し、基本的な実験技能を身に付けている。 状態変化について、実験などを行い、規則性を見いだしているなど、科学的に探求している。 物質の状態変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元3 身のまわりの現象 1章 光の世界	光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだして理解する。その際に、光の屈折では全反射が起こることを見いだして理解し、入射角と屈折角の定性的な関係を知る。また、白色光はプリズムなどによっていろいろな光に分かれることについて知る。 凸レンズの働きについての実験を行い、実像や虚像のでき方との関係を理解する。	◆1分野(1)ア(ア) ⑦, イ ◆1分野(1)ア(ア) ⑦, イ ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	光に関する事物・現象を日常生活と関連付けながら、基本的な概念や原理などを理解している。 光の反射や屈折などの規則性や関連性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。 光に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	1 1 月	2章 音の世界	音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだして理解する。 音の伝わる速さについて、空気中を伝わるおおよその速さを知る。	◆1分野(1)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音に関する事物・現象を日常生活と関連付けながら、基本的な概念や原理などを理解している。 実験から、音の性質の規則性や関連性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。 音に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		3章 力の世界	物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだして理解する。とともに、力は大きさと向きによって表されることがわかる。また、はねに加える力の大きさとばねの伸びとの関係について規則性を見いだして理解する。 力の単位として「ニュートン」を用いること及び重さと質量の違いについて知る。 物体に働く2力についての実験を行い、力が釣り合うときの条件を見いだして理解する。	◆1分野(1)ア(イ) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	力の働きに関する事物・現象を日常生活と関連付けながら、基本的な概念や原理などを理解している。 力の働きについて、問題を見いだし見通しをもって観察・実験などを行っている。 力の働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探求しようとしている。 科学的に探求するたために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 実験から、力の働きの規則性や関連性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。 2力のつり合いについて、課題を設定し、見通しをもって実験を行い主体的に調べようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【1年理科】 担当：加瀬義行

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3学期	1月	単元4 大地の変化 1章 火をふく大地	火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解する。 火成岩の観察を行い、組織の違いを成因と関連付けて理解する。	◆2分野(2)ア(ア) ⑦, イ ◆2分野(2)ア(ウ) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	火山活動や火成岩と地球内部の動きについての基本的な概念や原理などを理解している。 マグマの性質と火山の形との関連性などを見いだして表現しているなど、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	2月	2章 動き続ける大地	地震の体験や記録をもとに、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付く。	◆2分野(2)ア(ウ) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。 地震に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	3月	3章 地層から読みとる大地の変化	身近な地層の観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 火山や地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、大地の変動の様子を理解する。 自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解する。	◆2分野(2)ア(イ) ⑦, イ ◆2分野(2)ア(エ) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	大地の変動と地球内部の働きについての基本的な概念や原理などを理解している。 大地の変動や自然の恵みと災害について、見通しをもって問題を思いだし実験などを行っている。 大地の変動や自然の恵みと災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査

担当：樋口紘子

思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名【教材名】	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	曲にふさわしい表現を工夫しよう 『Forever』 喜多良中学校校歌 『一千億光年』	曲想と諸要素とのかかわりを感じ歌謡表現を工夫しよう 曲のイメージにふさわしい表現を工夫しよう	歌唱・ア・イ・ウ	思考・判断・表現主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造とのかかわりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	観察 プリント
	5月	音楽と諸要素と曲想のかかわり A. Vivaldi【春 第一楽章】 『疾風の歌』	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 歌詞の内容や曲の雰囲気や大切に、日本の歌を歌う。	鑑賞・ア・イ 歌唱・ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 音色、旋律、テクニクス、リズム、形式を知覚し、曲想と音楽の構造とのかかわりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	観察 プリント 実技テスト
	6月	リズムと音符の関わり 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり 合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	(音楽の諸要素の理解を含めた)アレンジ創作をしよう 声部の役割を利器し、旋律の流れを意識して歌唱表現しよう	創作・ア・イ 歌唱・ア・イ・ウ	思考・判断・表現 知識・技能 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 音色、リズム、テクニクス、強弱、構成を知覚し、どのようにつくっていくかについて思いや意図を思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体、使用の仕方など技能を身に付けていく。	観察 プリント 定期考査
7月		合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】				曲想と音楽の構造や歌詞の内容に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	観察 プリント

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 音楽科】

担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名（教材名）	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら合わせて歌う技能を身に付けている。 速度、旋律、テクニクス、強弱、構成を知識し歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。	観察 プリント
		合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】 魔王	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 プリント
	1 1 月	日本とアジアの音楽 『日本の民謡』 『越天楽』	声の音色や響き及び言葉の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱-イ・ウ 鑑賞-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、音楽の多様性について理解している。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、音楽の多様性に関心をもち主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察 プリント 定期考査
		『アジア地域の声の表現』	アジアの音楽の特徴を感じ取って鑑賞しよう。	歌唱-イ・ウ 鑑賞-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、音楽の多様性について理解している。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、音楽の多様性に関心をもち主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察 プリント
	1 2 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 音楽科】

担当：樋口絃子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	平調「越天楽」等曲「六段の調」	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 音色、速度、旋律、構成を感覚し、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	観察 プリント 実技試験
		等曲【さくらさくら】	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	器楽-ア・イ・ウ 歌唱-ア・イ・ウ		創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方、合わせて演奏する技能を身に付けている。 音色、旋律を感覚し、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。	観察 プリント
	2・3 月	ギター 【LESSON 1】 『メリーさんの羊』 『Happy Birthday』 国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】 歌唱実技試験	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	器楽-イ 歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や響きの関わりについて理解している。 創意工夫を生かして演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら演奏している。 音色、旋律、テクスチャアを感覚し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 楽器の構造や奏法、音色や響き、よさに関心をもち、楽しみながら主体的・協働的に取り組んでいる。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 リズム、旋律、強弱、形式を感覚しどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 プリント 実技試験

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	オリエンテーション 「これは売れそう！？○○ドーナッツ」 「鉛筆で描こう」 鉛筆の表現について知る グレースケール制作	○一年間の学習の流れを把握できるようにする。 ○私たちの生きている社会で美術がどんな役割をしているのかドーナッツの期間限定商品のデザインを通して考えることができるようにする。 ○ハッチングや鉛筆の持ち方、色の重なり、力の強さを工夫して6段階のグレースケールを描けるようにする。	A表現(1)-イ-(イ) A表現(2)-ア-(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・生活の中にある美術の役割を考え、誰かが喜んでくれる季節に合ったドーナッツの色や形の工夫をしてデザインすることができ。 ・鉛筆の使い方を理解し、トーンに応じて鉛筆の使い方を工夫し、むらなくきれいに6色を塗り分けることができる。	プリント評価 授業観察 作品評価
	5 月	「見つめ、感じ取り、描く」 右脳で描こう 手のデッサン 作品相互鑑賞	○垂直水平を基準にしてモチーフの輪郭線の傾きやカーブの形に注目し形をとらえ、鉛筆の使い方を工夫して描くことができるようにする。 ○鉛筆による表現の特性をもとに濃さを工夫してモチーフの印象をとらえることができるようにする。 ○友人の作品を鑑賞し、鉛筆の使い方や濃さの工夫点、モチーフの印象のとらえ方を見つづける。自分の作品を振り返ることができると感じる。 ○鉛筆の表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組むことができるようにする。 ○色の三原色に着目し、色の関係性をとらえることができるようにする。	A表現(2)-ア-(イ) 共通事項(1)-ア B鑑賞(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・垂直水平を基準にして形をとらえ、鉛筆の使い方を工夫して描くことができる。 ・鉛筆の濃さに変化を付け、モチーフの印象をとらえて描くことができる。 ・友人の作品から造形的な良さや美しさを感じ取り、具体的に工夫点を見つづけることができる。 ・鉛筆での表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組む。鑑賞を通して自分の作品を振り返り次のへの課題意識につなげることができる。	授業観察 プリント評価 作品評価 自己評価
6 月	6 月	「色の特徴」 色の三属性(明度・彩度・色相) 三原色 12色相環制作	○有彩色に無彩色を段階的に加えることで色の彩度が変化することが理解できるようにする。 ○色の知識や制作手順を理解しやすいようにブレインデーションや動画をを用い、主体的に学習に取り組めるようにする。	A表現(2)-ア-(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・12色相を制作し、色の関係を理解することがももに無彩色を混ぜることで彩度が変わることが理解できる。 ・絵の具と筆の使い方と水分量の調整を適切に行い12色相環を仕上げるることができる。 ・意欲的に制作に取り組む。色の基本・仕組みを理解しようとしている。	授業観察 作品評価 自己評価
	7 月	「色の効果と配色」 色の心理的効果 (暖色・寒色、軽い・重い) 相互鑑賞 定期考査	○暖かさや冷たさ、軽さや重たさを感じられる色があることに着目し、絵具など用具の扱い方を工夫して見通しを持ってモデルを塗り分けられるようにする。 ○身近なものの色を想起して、様々な感じ方があることに気づき、どのような色の組み合わせが主観にかなっているか考え、表現することができるようになる。 ○身近なものの色や役割に関心を持ち、自分の考えを意欲的に表現しようとするができるようになる。	A表現(1)-イ(イ) A表現(2)-ア-(イ) 共通事項(1)-ア B鑑賞(1)-ア-(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・暖色と寒色について自分の感じをもとに色を決め、絵具や筆、水加減を工夫し見通しを持って作品を仕上げるができる。 ・軽い色・重い色・色のモデルを塗り分けることで色によって感じ方が違ってくるが理解できる。 ・身近なものの色から色の感じ方に気づき、絵の具と筆の使い方と水分量の調整を適切に行い作品を仕上げるができる。 ・意欲的に制作に取り組む。色の基本・仕組みを理解しようとしている。	授業観察 作品評価 プリント評価 自己評価

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
	9月	「文字をデザインする」 ～レタリング（明朝体・ゴシック体） 「文字で楽しく伝える」 ～デザイン絵文字～ 作品の構想を練る アイディアスケッチ	○明朝体・ゴシック体の文字の形の特徴を捉え描くことができるようにする。 ○文字や文字が意味するものの形や色彩に注目し、伝達するイメージをとらえ、絵の具などを用いて見通しを持って表すことができるようになる。 ○文字の意味やイメージ、伝える場面をもとに、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ることができるようにする。	A表現(2)ア-(ア)(イ) B鑑賞(1)イ-(イ) A表現(1)イ-(イ) (ア)(イ) 共通事項(1)イ-アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・文字の特徴に注目し、バランスや配置の工夫を考え、明朝体・ゴシック体を鑑賞し、文字の意味から形と色の工夫に気づき、文字のデザインについて考えを深めることができる。 ・文字の意味やイメージ、伝える場面をもとに主題を設定し、わかりやすさと色や形色彩などの工夫を考え、構想を練ることができる。	プリント評価 授業観察 アイディアスケッチ 自己評価
		「文字で楽しく伝える」 ～デザイン絵文字～ 作品制作	○文字や文字が意味するものの形や色彩に注目し、伝達するイメージをとらえ、絵の具などを用いて見通しを持って表すことができるようになる。 ○文字の意味やイメージ、伝える場面をもとに、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ることができるようにする。 ○意味や美しさなどを考えて文字をデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組むことができるようにする。	A表現(1)イ-(イ) (ア)(イ) A表現(2)ア-(ア)(イ) (イ) 共通事項(1)イ-アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・設定した主題を表すために、的確な造形的な視点をもち、絵の具の濃さや用具の使い方を工夫し、見通しを持って制作することができる。 ・文字をデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	授業観察 作品評価 自己評価
10月							
	11月	「文字で楽しく伝える」 ～デザイン絵文字～ 作品制作 相互鑑賞 定期考査	○文字や文字が意味するものの形や色彩に注目し、伝達するイメージをとらえ、絵の具などを用いて見通しを持って表すことができるようになる。 ○文字の意味やイメージ、伝える場面をもとに、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ることができるようにする。 ○意味や美しさなどを考えて文字をデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組むことができるようにする。	A表現(2)ア-(ア)(イ) B鑑賞X4:AV30-(1)イ-(イ) A表現(1)イ-(イ) (ア)(イ) 共通事項(1)イ-アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・作品が設定した主題を的確に表す表現になっているか再確認し、用具の使い方を工夫して仕上げることができる。 ・文字をデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組むことができる。 ・友人の作品を鑑賞し、作者の表現の意図に気づき、良さや工夫点を感じることが出来る。 ・授業で学んだ知識や技能が定着できている。	授業観察 作品評価 プリント評価 自己評価 定期考査
		「木と親しむ暮らし」 ～木彫コースターづくり～ 木の道具鑑賞 木彫について	○木の道具を鑑賞し、木の特長や美しさを感知し、使う人が使いやすい工夫に着目し、作者の意図に気づくことができるようにする。 ○基本の木彫について学び、彫りの種類によって彫刻刀の使い方が変わること注目し、用具を正しく使用し、制作できるようにする。 ○木の良さを思いやり、やさしさを生かして作ることに関心をもち、意欲的に取り組むことができるようにする。	B鑑賞(1)イ-(イ) (ア)(イ) A表現(2)ア-(ア)(イ) (イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・木の道具を鑑賞し、使いやすさや美しさを感知し、作者の意図に気づくことができる。 ・基本の木彫の彫りの種類について理解し、彫刻刀の使用法を工夫し、彫り進めることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価
12月							

2学期

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【1年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	「木と親しむ暮らし」 ～木彫コースターづくり～ 木彫について アイディアスケッチ 作品制作	○基本の木彫について学び、彫りの種類によって彫刻刀の使い方が変わること、注目し、用具を正しく使用し、制作できるようにする。 ○作品のアイディアスケッチを行う際に、道具類としての使いやすさ美しさに注目し、彫りの種類によって制作方法を検討して制作の見通しを立てることができるようにする。 ○木の良さを生かして作ることと、意欲的に取り組むことができるようにする。	共通事項(1)～ア A表現(1)～イ(ア) A表現(2)～ア (ア)(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・基本の彫りの種類について理解し、彫刻刀の使用法を工夫し、彫り進めることができる。 ・道具としての使いやすさや美しさに着目して構想し、デザインに合う彫りの種類を選択し、制作の見通しを立てることができる。 ・木の良さを生かして作ることと、意欲的に取り組むことができる。	プリント評価 授業観察 アイディアスケッチ 作品評価 自己評価
	2 月	「木と親しむ暮らし」 ～木彫コースターづくり～ 作品制作	○デザインをより良く表現できる木彫の種類を選択し、彫刻刀を正しく使って見通しを持って制作を進めることができるようにする。 ○木の特性やぬくもり、使う人の気持ちにならって使いやすく美しく仕上げるように制作を進めることができるようにする。 ○木の特性や道具の使用法に関心を持ち、意欲的に丁寧に制作を進めることができるようにする。	A表現(2)～ア (ア)(イ) 共通事項(1)～ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・デザインを表現するために効果的な彫りの種類や彫刻刀の使い方を工夫し、見通しを持って制作を進めることができる。 ・木の特性や彫刻刀の使い方に注目し、より良く表現が生かせるように制作方法の見直しを行いながら丁寧に制作を進めることができる。 ・木の特性や道具の使用法に関心を持ち、意欲的に丁寧に制作を進めることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	3 月	「木と親しむ暮らし」 ～木彫コースターづくり～ ニス塗り 作品相互鑑賞	○友人の作品を鑑賞し、使ってもらおう相手に喜ばれる表現の工夫を見つけてことができるようにする。 ○一年間の学習を振り返り、次年度の学習につなげることができるようにする。	B鑑賞(1)～イ(ア)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・友人の作品から使う目的や機能との調和のとれた良さを美しさを感じ取り、用途と制作の工夫点について考え見方や感じ方を深めることができる。 ・一年間の学習から生活を豊かにする美術の働きについて考えることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価

令和7年度 年間指導計画・評価計画【1年保健体育科】担当：小柴 なぎさ

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	指導の観点	評価規準	評価方法
保健・体育理論	1・2・3学期	体育理論	(1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。 (2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・各種の運動の特性と学び方や、安全の確保の仕方について関心をもち学習に取り組んでいる。 ・運動の特性に応じた課題設定や解決の仕方を知っている。 ・運動の特性と学び方について理解している。	・授業態度 ・発言内容 ・学習カード ・学年末考査
		保健分野	(1) 心身の機能の発達と健康について理解できるようにする。 (2) 病気の発生活や健康の成立要因について、自身の生活や環境と関連づけて考えることができるようにする。	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・心身の機能発達や心の健康などについて知識や経験等をもとに、課題をみつめることができる。 ・年齢に伴う身体各器官の発達の傾向や性差、個人差があることを理解し、知識を身につけている。 ・病気の主体の要因と環境の要因について理解し、健康の成り立ちについて、説明することができる。	・授業態度 ・発言内容 ・学習カード ・期末考査

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	A 体づくり運動 授業についてのオリエンテーション (集団行動・方向転換・ラジオ体操)	(1) 一定の集団がひとまとまりになり、行動するときの基本動作のきまりや、方向転換、集合・整とん、列の増減、行進などができるようになる。 (2) きまりを理解し、能率よく行動できるようにする。 (3) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができる。 (4) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (5) 体づくり運動の意義と行い方などを理解し課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしている。 ・自分の体力や目的にあった運動を選び、組み合わせることができる。 ・体ほぐしの運動……心と体は互いに影響し変化すること、仲間と積極的に交流するための調整や律動的な運動を行うことができる。 ・体力を高める運動……ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	5月・6月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようになる。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 短距離走 リレー	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に応じた目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができ、技能を高めたため、記録を高めたことができている。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	7月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、泳法を身につけるようになる。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることができる。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思考することをしていく。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解し、知識をもっている。また、それに準じた行動ができる。 ・水泳の特性に応じた技能を練習で身につけ、技術の名称、運動のポイントなどを理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【1年 保健体育科】担当：小柴 なぎさ

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価基準	評価方法
9・10月		E 球技	(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に関わり組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ネット型 「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返り ・期末考査
		B 器械運動	(1) 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がより良くなるようにする。 (2) 器械運動に積極的に関わり組むとともに、よい演技を認めようとするなど、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. マット運動 エ. 跳び箱運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・技がよくできたり、自分に適したレベルの技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・施設、用具の安全や、安全な行動に留意している。 ・課題に応じた運動の取り組み方を創意・工夫・思考している。 ・基本的な技を滑らかに行うことができる。 ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や体の使い方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返り ・期末考査
		C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に関わり組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ハードル走 走り高跳び	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・記録を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返り ・期末考査
11・12月		F 武道	(1) 柔道の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる受け身や技ができるようにする。 (2) 柔道に積極的に関わり組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考えや、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 柔道	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・礼儀作法を重んじて、相手を尊重し、自分を律する態度をとろうとしている。 ・用具や会場の安全を確かめたり、受け身の技能を高め、禁じ手を用いないなど、安全に留意している。 ・自分の能力に適した課題を創意・工夫・思考している。 ・各種の練習を通して、段階的、系統的に技能を身につけている。 ・柔道の特性や基本動作、対人的な技術構築、学習の進め方を理解している。 ・礼儀作法や競技のルール、知識を身につけている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返り ・期末考査
		E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に関わり組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ゴール型 「バスケットボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返り ・期末考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【1年 保健体育科】担当：小柴 なぎと

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようになる。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行うおうちとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができている。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができている。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・学年末考査
		G ダンス	(1) 感じを込めて踊ったりみんなと踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通して交流ができるようになるようにする。 (2) 互いに動きの良さを感じ方、表現の良さを認め合い、協力して練習したり、発表したり鑑賞できるようにする。 (3) ダンスの特性や学び方、鑑賞のポイントについて理解できるようにする。	ウ. 現代的なダンス	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ダンスの楽しさや喜びを味わうことができよう、互いの良さを認め合おうとしたり、分担した役割を果たそうとしたり、安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・ダンスの特性に応じて、交流できるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身に付けている。 ・ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・学年末考査
	2 月・3 月	E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を守ろうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. ゴール型 「ハンドボール」 又は、 「サッカー」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・学年末考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	ダイダンス ・学習の見通し ・授業の約束ごとを確かめる					
	4 月	材料と加工の技術 ・材料と加工の技術を見つげよう ・材料の特性を調べよう ・問題を解決する工夫を考えよう	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技術を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会・環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活の現実や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	A (1) アイ	知識・理解 主体的に学習に取り組む態度 知識・理解 思考・判断・表現 思考・判断・表現	・主要な材料や加工の特性等の原理・法則を理解している。 ・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技術を身に付けようとしている。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ・練習作品の製作を通して、材料の製造や加工方法等の基礎的な技術の仕組みを理解している。 ・練習作品の製作を通して、実習の安全な作業の進め方を身に付けている。	ワークシート 定期テスト ワークシート ワークシート 定期テスト 観察 定期テスト ワークシート 定期テスト
	5 月						
	6 月						
	7 月						

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	材料と加工の技術 ・つくってみよう 「木材加工作品」 ・設計のしかたを知ろう ・図や表を読み取ろう ・設計に沿った製作をしよう	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技術を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活の現実や持続可能な社会の構築に向けて、適切しようとする実践的な態度を身に付ける。	A (2) アイ	知識・技能 思考・判断・表現 思考・判断・表現 知識・理解 主体的に学習に取り組む態度 主体的に学習に取り組む態度	・設計の考え方や手順を理解している。 ・材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、生活の中から問題を見いだして課題を設定している。 ・課題を解決するために、条件を揃えて適切な材料や加工法を選択し、構想を具体化して設計や計画をまとめている。 ・製作に必要な図をキャビネット図および等角図、正投影図でかき表すことができる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の新しい考え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。 ・自ら問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	ワークシート ワークシート 定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート
	10 月						
	11 月						
	12 月	材料と加工の技術 ・社会の発展と材料と加工の技術		A (3) アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・材料と加工の技術、生活や社会に果たす役割や影響について理解している。 ・より安全な生活や社会の現実に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な技術の在り方について考えている。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。	ワークシート 定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	情報に関する技術 「ソフトウェアの活用」 ・情報とわたしたちの生活 ・情報通信ネットワークの利用 ・デジタル作品の設計と製作 ・個人情報と人権の配慮 ・情報に関する技術の評価・活用	情報の技術の風方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技術を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を発見し、課題を設定し解決する力、よりよい生活や地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	D (1) アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 知識・技能 知識・技能	・情報の技術に関する科学的な原理・法則を理解している。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技術を身に付けようとしている。 ・安全・適切なプログラムの製作方法や、動作の確認等の基礎的な仕組みを理解している。 ・実習の安全の進め方を身に付けている。	定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート ワークシート 定期テスト ワークシート
	2 月						
	3 月						

令和7年度

年間指導計画・評価計画

【1年 家庭科】

担当：前田佳子

指導の観点：知識・技能
思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	ガイダンス B 食生活 1 人間にとっての食事	・家庭分野の学び方と身につけたい力 ・食品は食品群に分類されること、その食品群の五大栄養素との関係を理解する。 ・五大栄養素の体内でのはたらきを理解する。 ・6つの基礎食品群について理解する。	B (1) ア	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・栄養素の種類と働きがわかり、食品の栄養的な特質について理解している。 ・栄養素の種類とはたらきについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている	授業への取り組み 期末考査 提出物
	5月	2 食品と栄養素 3 中学生に必要な食事 4 日常食の調理と地域の食文化	・食品群と五大栄養素の関係について理解し、食品成分表の見方を知る。 ・食べ物が体内でどのような働きを確かめる。 ・生鮮食品の特徴を理解し、目的に応じた選択・保存ができる。 ・生鮮食品の特徴と目的に応じた選択・保存方法と食中毒の関係を理解する。	B (1) イ (2) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。 ・中学生の1日分の献立について実践を評価したり、改善したりしている。 ・中学生に必要な栄養素を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・中学生の1日分の献立について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている	授業への取り組み 期末考査 提出物
	6月						
	7月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年 家庭科】 担当：前田佳子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	B 衣生活 生活を豊かにする物の 製作	・製作に必要な材料や縫い方、 用具の安全な使い方の理解を図 り、その技能を身に付ける。 ・製作の基礎・基本の習得に主 体的に取り組む。	C (3) ア	①知識・技能 ②思考・判断・ 表現 ③主体的に学習に 取り組む態度	・製作計画について問題を見いだして 課題を設定している。 ・製作計画について考え、工夫してい る。 ・製作について実践を評価したり、改 善したりしている。	ワーク 授業への 取り組み 期末考査
	10 月	4 日常食の調理と地域 の食文化	・肉の調理上の性質を理解し て、肉の調理をする。 ・魚の調理上の性質を理解し て、魚の調理をする。 ・野菜の調理上の性質を理解し て、野菜の調理をする。	B (3) アイウ		・肉・魚・野菜の調理上の性質を理解 しているとともに、適切に調理でき る。 ・肉・魚・野菜の調理について問題を 見いだし、課題を設定している。 ・肉・魚・野菜の調理計画を考え、工 夫している。	
	11 月		・衛生的で安全な調理と見通し をもった調理実習を行うことを 確認し、肉・魚・野菜の特性を 理解し、それぞれにあった調理 方法を考える。 ・加工食品の特徴を理解し、目 的に応じた選択ができる。 ・身近な加工食品をあげ、先に 学習した生鮮食品の表示と比較 しながら、加工食品の表示の見 方を確認する。 ・地域で生産される食材の調理 を通して、地域の食文化を理解 する。 ・和食の特徴を理解し、地域の 郷土料理を調べる。		①知識・技能 ②思考・判断・表 現 ③主体的に学習に 取り組む態度	・衛生的で安全な調理と見通しをもつ た調理実習を行うことを確認し、肉・ 魚・野菜の特性を活かした調理を実践 している。 ・肉・魚・野菜の調理について、実践 を評価したり、改善したりしている。 ・調理実習について工夫し創造し、実 践しようとしている	
	12 月					・地域で生産される食材の調理を通し て、地域の食文化を理解している。 ・日常食の調理と地域の食文化につい て、考察している。 ・地域の食材を生かした調理を学んだ 知識と技術を活用し、実生活で実践し ようとしている。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年 家庭科】 担当：前田佳子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	5 献立作り	・1日分の献立作成の方法を理解し、作成することができる。 ・各食品群の食品を組み合わせて、栄養バランスの取れた1日分の献立を考える	B (3) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・1日分の献立を作成する方法について理解している。 ・1日分の献立を作成し、1食分の調理の仕方や調理計画について課題解決をしようとしている。 ・1日分の献立を作成し、課題の解決に主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	2 月	6 持続可能な食生活	・自分たちの食生活をSDGsの観点からふり返り、食生活のあり方について考える。 ・食品ロスや食料自給率の課題について理解し、自分たちができる工夫や社会の取り組みについて話し合い、発表する	B (3) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・社会や環境に配慮した食生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・社会や環境に配慮した食生活を目標として、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
							3 月

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年 英語】 担当：岩原寅之助

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	オリエンテーション E-NAVI NEW CROWN 1 Starter1. 2	○小学校で習った表現を使ったり、単語を 読んだり書き写したりすることができ る。 ○英和辞書の見出し語配列について知り、 基本的な使い方を理解する。 ○自分がふだんよく使うことや、できるこ とを伝えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○小学校で習った英語表現について理解している。 ○英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な 使い方を理解している。 ○be動詞と一般動詞、助動詞canを用いた文の形・ 意味・用法を理解している。 ○名前や出身地、好きなものやできることなどに ついて、be動詞や一般動詞、助動詞canなどを用い て、be動詞を身につけている。 ○簡単な語句や文を用いてたずねたり答えたり、答 えようとしている。	行動観察 振り返りカー ド 教材
	5 月	NEW CROWN 1 Lesson 1 "About me" エイゴラボ Room 4, 6, 7, 10, 11, 12, 13, 14, 17 E-NAVI 聞きトレ	○友達や先生に自分のことを知ってもら うために、自分の名前や好きなことにつ いて、簡単な語句や文を用いて、事実や自 分の考えなどを正確に書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○be動詞と一般動詞の現在形の肯定文の特徴や決ま りに関する事項を理解している。 ○be動詞と一般動詞の現在形の肯定文などを活用し て、出身地や好きなことについて話された文の内容 を聞き取ったり、読み取る技能を身に付けている。 ○名前や好きなもの、趣味についてbe動詞と一般動 詞の現在形の肯定文や疑問文、否定文などを用い て、事実や自分の考えなどを話したり、正確に書く 技能を身に付けている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート 振り返りカー ド 教材
	6 月	NEW CROWN 1 Lesson 2 "My Hero" エイゴラボ Room 24, 25, 27, 28 聞きトレ	○友達や先生に憧れの人物の魅力を伝える ために、その人物の名前やできることにつ いて、簡単な語句や文を用いて、事実や自 分の考えなどを話すことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○助動詞canの肯定文や疑問文、否定文の特徴や決 まりに関する事項を理解している。 ○助動詞canの肯定文や疑問文、否定文などを活用 して、憧れの人物や有名な人、好きなことや得意なこ とについて話された文の内容を聞き取ったり、読み 取る技能を身に付けている。 ○憧れの人物や好きな有名な人、得意なことや好きな ことについて、助動詞canの肯定文や疑問文、否定 文などを用いて事実や自分の考えなどを話したり、 正確に書く技能を身に付けている。	定期調査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート 振り返りカー ド 教材
	7 月	NEW CROWN 1 Lesson 3 "My Treasure" エイゴラボ Room 5, 6, 7, 8, 20, 23, 35 聞きトレ	○友達や先生に自分のことを知ってもら うために、ものの特徴について、簡単な語句 や文を用いて、事実などを正確に書くこ とができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○be動詞（3人称）の肯定文・否定文の特徴や決ま りに関する事項を理解している。 ○be動詞（3人称）の肯定文・否定文などを活用し て、お気に入りの店などについて話された文の内容 を聞き取ったり、読み取る技能を身に付けている。 ○be動詞（3人称）の疑問文の特徴や決まりに關す る事項や、What is this?の意味の働きを理解して いる。 ○be動詞（3人称）の疑問文やWhat is this?などを 活用して、家にあるものについて話された文の内容 を聞き取ったり、読み取る技能を身に付けている。	定期調査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート 振り返りカー ド 教材

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【1年 英語】 担当：岩原寅之助

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	Lesson 4 "My Summer Plans" エイゴラボ Room 15, 29, 46, 47, 68, 69 聞きトレ	○ALTの先生に中学生が夏休みをしたいことを知ってもらうために、夏休みをしたいことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話すことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○I went to ...の意味や働きを理解している。 ○I went to ...などを活用して昨年の夏休みにしたことについて話された文の内容を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 ○昨年の夏休みにしたことについて、I went to ...などを用いて、事実や自分の考えなどを話したり、正確に書く技能を身に付けている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート、振り返りカード 教材
	10 月	NEW CROWN 1 Lesson 5 "Ms. Brown's Family" エイゴラボ Room 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 39, 40, 51 聞きトレ	○日本に興味のある海外の人に知ってもらうために、日本で人気のあるキャラクターについて、具体的な情報を付け加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ○話し相手と会話を続けてより良い関係を築くために、相手が話した内容の詳細を尋ねながら、トークテーマについて即興で話したり、質問に応答したりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○3人称単数現在形の肯定文の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ○3人称単数現在形の肯定文などを活用して、家族について話された文の内容を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 ○1日の生活について、3人称単数現在形の肯定文や疑問文、否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話したり、正確に書く技能を身に付けている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート、振り返りカード 教材
1 1 月	1 1 月	NEW CROWN 1 Lesson 6 "School Life in the U.S.A." エイゴラボ Room 37, 38, 41, 52, 53, 56, 57 聞きトレ	○アメリカに住んでいる中学生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、写真を描写し、詳しい説明を付け加えて、まとまりのある文書を書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○現在進行形の疑問文の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ○現在進行形の疑問文などを活用して、話し手の行動について文の内容を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 ○Which ... A or B?の意味や働きを理解している。 ○写真の人物や学校生活について、現在進行形の肯定文や疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを話したり、正確に各技能を身に付けている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート、振り返りカード 教材
	1 2 月	NEW CROWN 1 Lesson 7 "Athletes with Spirit" エイゴラボ Room 46, 47, 48, 49, 50, 58 聞きトレ	○アスリートが大切に行っていることをまとめるために、事実と筆者の考えに着目し、スポーツの特徴について書かれた記事を読んだら、要点をとらえることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○一般動詞 (規則・不規則) の過去形の肯定文や疑問文、否定文の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ○一般動詞 (規則・不規則) の過去形の肯定文や疑問文、否定文などを活用して、過去の出来事について話された文の内容を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 ○自分が体験した出来事について、一般動詞 (規則・不規則) の過去形の肯定文や疑問文、否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話したり、正確に各技能を身に付けている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート、振り返りカード 教材

令和7年度 年間指導計画・評価計画【1年 英語】 担当：岩原寅之助

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	NEW CROWN 1 Lesson 8 "Discover Japan" エイゴラボ Room 42, 43, 44, 45, 54, 55, 61, 62, 63 聞きトレ	○絵日記コンテストに応募するために、今年一番思い出に残った出来事について、感想などを付け加えて、まとまりのある文章を書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○be動詞の過去形の肯定文の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ○be動詞の過去形の肯定文などを活用して、旅行の思い出について語られたり、書かれた文の内容を聞き取ったり、読み取る技能を身に付けている。 ○旅行や遠足などの思い出について、be動詞の過去形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどについて話したり、正確に書く技能を身に付けている。 ○過去進行形の肯定文の特徴や決まりに関する事項を理解している。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート 振り返りカード 教材
	2 月	NEW CROWN 1 Lesson 9 "Emergency Food" エイゴラボ Room 64, 65, 66, 67 聞きトレ	○筆者が伝えたいことをまとめるために、事実や筆者の考えに着目し、非常食について書かれたコラムを読んで、要点をとらえることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○助動詞willの肯定文や疑問文の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ○be going to...の肯定文や疑問文の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ○be going to...の肯定文や疑問文などを活用して、春休みの予定について語られた文や、非常食について書かれた文の内容を聞き取ったり、読み取る技能を身に付けている。 ○助動詞willの肯定文や疑問文などを活用して、天気予報について語られた文や、授業の感想について書かれた文の内容を聞き取ったり、読み取る技能を身に付けている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート 振り返りカード 教材
	3 月	NEW CROWN 1 エイゴラボ 聞きトレ	○1年間の学びを振り返り、これまでの学習内容を理解し、身近な話題について短い文章を書くことができる。 ○自分の生活や目標について、短いスピーチや発表を行うことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○Lesson 9までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ○Lesson 9までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解する技能を身に付けている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート 振り返りカード 教材